

編 集 後 記

「四月始まり」という生活の切り替えと全く無縁でライフサイクルを過ごす人は、日本の人口の何パーセントぐらいなのだろう。日本社会に生きるということは、学校や職業との関連で「四月」をある特別の意味あいで感じる人になるように（文化的に）教育されるといふ面をもつ。学校・職業という社会制度に直接組み込まれない人も、四月になると世の中が新年度という「正月」を迎えていることに、それぞれの立場から感じないわけにはいかないだろう。そこに桜が「花を添える」構造だ。四月は日本社会に息づくバイオリズムの結節点には違いない。

特集で「入園」について保育者の方々に語っていただいた。子どもが新しい環境に馴染むように、先生方のほうも初心にかえって、その社会性の実践を切り替えているように見受けられる。鯨岡先生の言をかりれば、部外者を「共にある」「共におられる」身近な他者としていくプロセスともいえる。子どもだけでなく教師のほうも四月は人間関係の再編に迫られ、園児をはじめ保護者あるいは新しい同僚に受け入れられ、主体的に受け入れることもできるよう配慮することが主眼となる。そうして「去年の四月」や「十年前の四月」などと引き比べては、自らの社会性の成長を振り返るのかもしれない。

* 本誌へのご感想や投稿希望などは yujimail@yahoo.co.jp までお願いいたします。

(浜口)

幼児の教育

第一〇五巻 第四号

(二〇〇六年四月号)

定価五五〇円(本体五二四円)

発行 平成十八年四月一日

編集兼発行人 浜口順子

発行所 日本幼稚園協会

〒112-8600 東京都文京区大塚二-1-1

お茶の水女子大学附属幼稚園内

印刷所 図書印刷株式会社

〒108-8620 東京都港区三田五-1-1

発売所 株式会社 フレーベル館

〒113-8611 東京都文京区本駒込

六一-四一九

☎〇三-五三九五-五六六-二三(営業)

☎〇三-五三九五-五六六-〇四(編集)

振替 〇〇-一九〇-1-196400

☆ 本誌ご購入のご注文は発売所フレーベル館にお願いいたします。

☆ 万一、乱丁・落丁などがございましたら、おとりかえいたします。